

東京宝島チャレンジプロジェクト及び 東京宝島ブランドサポーターシップ事業 成果報告会の開催について

東京都は、賑わいと活力に溢れた島しょ地域の実現に向けて、地域資源、特産品、歴史・文化などの「宝物」や隠れた魅力を掘り起こし、一層磨きをかけ広く発信するブランド化の取組を進めています。

このたび、東京宝島チャレンジプロジェクトの支援を受け、複数の島しょにまたがる新たなサービスの起業及び事業化に取り組む事業者による今年度の成果報告と、東京宝島ブランドサポーターシップ事業で、島しょ製品の磨き上げに取り組んだ大学生の取組発表を行う、成果報告会を開催することになりましたのでお知らせいたします。

記

- 1 日 時
令和 7 年 3 月 18 日（火曜日） 9 時 00 分から 13 時 00 分まで
- 2 場 所
アビームコンサルティング株式会社内会議室
（東京都中央区八重洲 2-2-1 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー）
- 3 出席予定者
東京宝島チャレンジプロジェクト採択事業者（6 事業者）
東京宝島ブランドサポーターシップ参加学生（3 チーム）
東京宝島推進委員 等
- 4 主な内容
東京宝島チャレンジプロジェクト成果報告
東京宝島ブランドサポーターシップ事業取組報告
詳細については、別紙をご参照ください。
- 5 その他
会議の様子は、後日、東京宝島特設 HP に掲載いたします。
＜東京宝島特設 HP リンク＞
<https://www.t-treasureislands.metro.tokyo.lg.jp/>
- 6 取材等
当日の取材を希望される方は、下記【問合せ先】までお問い合わせください。



【問合せ先】

総務局行政部振興企画課 電話 03-5388-2436

「『未来の東京』戦略」事業

本件は、「『未来の東京』戦略」を推進する事業です。
戦略 17 多摩・島しょ振興戦略「島しょの魅力創出」

東京宝島事業年度末成果報告会について

日 時：令和7年3月18日（火）9時00分～13時00分

場 所：アビームコンサルティング株式会社内会議室

出席予定：チャレンジプロジェクト採択6事業者

ブランドサポーターシップ参加学生、アドバイザー

東京宝島推進委員（山田 敦郎 委員長、藤田 明久 委員）

そ の 他：会議は後日、東京宝島ホームページ上で公開

当日予定

時間	予定議題	進行・説明者
	◎開会	事務局
9:00	◎総務局 行政部 振興企画課 事業調整担当課長 堀江 挨拶（冒頭）	事業調整担当課長
9:13	◎チャレンジプロジェクト成果報告 ① てらすワークショップ	チャレンジプロジェクト採択 事業者 各20分を予定 （入れ替わり各3分）
9:36	② 小笠原グリーン株式会社	
9:59	③ 合同会社とり 休憩＜15分＞	
10:34	④ NPO 法人八丈島観光レクリエーション研究会	
10:57	⑤ エアロセンス株式会社	
11:20	⑥ 株式会社ネクセライズ	
11:40	◎（講評） 東京宝島推進委員 山田委員長 休憩＜15分＞	
12:00	◎ブランドサポーターシップ取組報告 ① 利島	ブランドサポーターシップ 参加学生 各10分を予定 （入れ替わり各3分）
12:13	② 三宅島	
12:26	③ 新島・八丈島	
12:39	◎（講評） 東京宝島推進委員 藤田委員	
12:44	◎事務連絡等・終了＜3分＞	事務局

東京宝島チャレンジプロジェクト

○ 目的

各島の地域ブランドコンセプトに基づき実施する、島の付加価値を高め地域の持続的な発展を目指す取組を一步進め、**複数の島しょにまたがる広域的取組を支援**するため、新たなサービスの起業及び事業化に向けたチャレンジを支援

○ 募集対象

観光客の誘致、地域産品の磨き上げ・魅力発信や、関係人口の創出や移住定住の促進に向けた、医療、住宅、仕事等の分野における暮らしやすい地域づくり等、**地域資源を活かした地域産業・経済の活性化**といった、**島しょ地域が抱える地域課題を解決し、一層の魅力向上**につながるプロジェクト

○ 支援内容

- ✓ 原則3カ年のプロジェクト事業費を**上限1億円程度**支援
- ✓ プロジェクトの実現可能性を高めるため、関連分野に強みを持つ
パートナー企業とのマッチングを支援
- ✓ 支援期間中の**アドバイザーによる伴走支援**を実施

○ スケジュール

～R 6 年 9 月			R 6 年 1 0 月～R 7・3 月	R 7 年度	R 8 年度
プロジェクト 募集	書類審査 (1次審査)	2次審査	プロジェクト支援		

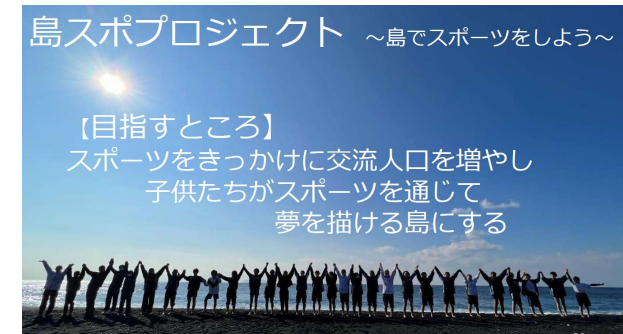
てらすワークショップ

現状：運動部の部員や練習試合など実践形式の練習が不足。また、観光客が一部季節に集中。進学などで一度島外に出た子ども世代のUターンがとても少ない。

取組：以下の取組から「島しょでスポーツがしたい」という機運を醸成

①**各島の実態にあわせた新たなスポーツ観光大使を創出**。継続的な島内へのスポーツ誘致を実施。行政・企業との連携してプロジェクトと推進。

②閑散期のスポーツ・文化体験プログラムを創出し、閑散期の来島者増加を図る。**大島・神津島での展開を予定。後年度は新島での展開を予定。**



(株)ネクセライズ

現状：発電は島内の発電所に依存しており、発電に必要な燃料は本土からの海上輸送に依存。

取組：災害時へのレジリエンス強化等の観点も見据え、**太陽光発電を普及促進**すべく以下の取組を実施。①本土&島内事業者の協働体制構築②島内事業者の自立化に向けた教育訓練サービス開始③島しょ地域での点検保守サービスを開始④島内イベントで太陽光発電のある暮らしの普及啓発。**新島・式根島で取り組みを開始し、大島支庁管内に展開を予定、11島の実施も可**



合同会社とり

現状：①耕作放棄地が増加している他、島独自の農作物の認知度が低い②夏季は観光客が集中し宿不足等の課題が生じる一方で、オフシーズンは宿余りの状況。

取組：①**耕作放棄地を開墾**し農業規模を拡大。**収穫体験プログラムを実施**し農作物の認知度を向上②農作物の収穫体験プログラム等を夏季以外に実施。**宿泊体験と連動**させることでオフシーズンの来島誘致および宿泊業の活性化を狙う。

新島での展開を予定、後年度は式根島をはじめ八丈島、利島等への展開を予定。



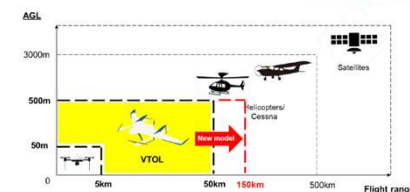
エアロセンス（株）

現状：各島の物流は、船舶輸送に依存しているが、船舶の維持費用の増大等により減便をせざるを得ず、物流ニーズを満たし続けることが困難な見込。

取組：式根島にドローン拠点を設置。本土からのドローン物流を可能とし、災害時や船舶の故障時に備えた円滑な物流網を構築。物流の他、災害時の被害状況確認や3次元データによる観光コンテンツも創出。式根島での拠点設置および大島・三宅支庁管内を中心に展開。後年度は父島・母島間で展開を予定。



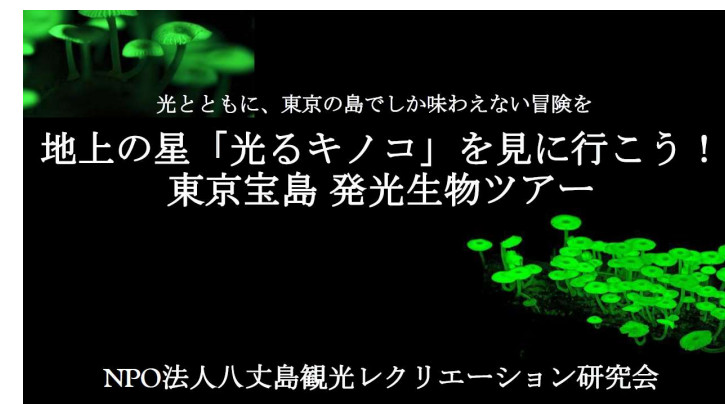
VTOL はドローン新時代の幕開け。衛星・セスナ・ヘリよりも、高精度・高精度・低価格



NPO法人八丈島観光レクリエーション研究会

現状：観光客が夏季に集中しており、体験できるアクティビティはマリンスポーツ等の日中に行うものが中心。宿泊の動機付けに繋がる閑散期のナイトコンテンツや好奇心を刺激する親子向け探求コンテンツ、また情報発信自体が不足。

取組：東京の島しょ地域に自生する発光生物（光るキノコ、夜光虫等）をモチーフとしたナイトタイムツアーを企画。閑散期を含む通年で楽しめる光を取り入れた屋内展示のコンテンツ拡充。現地を訪れないと参加できないクイズラリーも実施し認定証を発行する等、来島意欲を醸成。八丈島での展開を予定。後年度は三宅島・父島・母島での展開を予定。



小笠原グリーン（株）

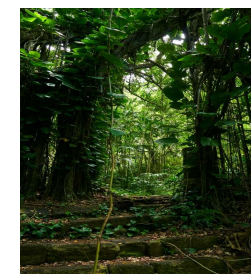
現状：①島の経済規模の内約65%が都や国の補助金に依存。自律的な経済循環が構築できていない②森林の観光活用は為されていますが、潜在価値（森林の多面的機能）を100%引き出しながら経済性を持たせるような施策が少ない。

取組：①樹種特性を調査し炭素吸収量を算出。カーボンクレジットによるCo2排出量売買による経済循環を実現。②電気式木材乾燥所を設置し商品の生産体制を強化。ブランドストーリーを展開し高付加価値化を目指す。父島・母島での展開を予定。後年度は八丈島での展開を予定。

令和6年度島しょ地域のブランド化に向けた東京宝島チャレンジプロジェクト

小笠原グリーン株式会社

小笠原カーボンクレジットによる新しい経済価値の創出



○ 目的

- ✓ 島しょ地域とZ世代をはじめとする若い世代とのつながり創出を目的として実施
- ✓ 都内大学生を島しょ地域の特産品事業者の実習生として派遣
- ✓ 都立大学、東京女子大学、國學院大学に今年度より**多摩美術大学が新たに参加**
- ✓ 大学生が企画提案し、事業者とディスカッションのうえ、商品パッケージや情報発信等を具体化

○ 受入事業者

利 島：利島農協協同組合

- ✓ 利島産「椿油」の広報や販路開拓、生活必需品やお土産等も販売
- ✓ 活動内容：Z世代が考える椿油の使い方や、コスメ等の商品開発など
- ✓ 8月26日～8月29日の4日間で現地実習（6日予定を台風により切上げ）

参加大学生：6名

都立大：2名
國學院大：2名
多摩美大：2名

三宅島：一般社団法人アットアイランド

- ✓ 「三宅食堂」、「三宅島ゲストハウス島家」の運営
- ✓ 活動内容：雄山一（島酒）、明日葉、塩、フルーツを活用した
テイクアウトフードやお土産の開発
- ✓ 9月2日～9月6日の5日間で現地実習

参加大学生：8名

都立大：2名
國學院大：1名
東京女子：3名
多摩美大：2名

八丈島・新島：東京七島酒造組合

- ✓ 島しょ部の9の蔵元による酒造組合。酒造販売等を実施
- ✓ 活動内容：若年層への島酒の認知度向上等について飲んでもらう
機会の創出や島しょ産品との連携を図る
- ✓ 八丈：8月30日～9月2日、新島：9月5日～6日、計6日間の現地実習

参加大学生：6名

都立大：1名
國學院大：2名
東京女子：2名
多摩美大：1名